

えほんのおへや通信



サンガこども園

2013年4月1日(月)発行 サンガこども園

今年の桜は例年より早く咲きました。春といえば「旅立ち」。サンガで育ったお友達が新たな世界への旅立ってきました。いつまでもいつまでも絵本達を忘れないでほしいものです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」4月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「だっこし～て だっこし～て」

木坂涼文 / 長野ヒデ子絵

おかあさんが赤ちゃんをだっこ。「だっこし～て だっこし～て」……さあ、今度はどんなだっこかな？赤ちゃんの満面の笑顔がすてきな絵本です。親子でたっぷり楽しんでください。



こどものとも 少年版

2～4歳向き

「カレーライス」

小西英子作

今日のごはんはカレーライス。玉ねぎ、お肉、じゃがいも、にんじん。ほら、切りますよ、トントントン。切ったお肉と野菜を炒めて、ゆっくりゆっくり煮込みます。カレーライスのおいしそうな絵に思わず手がのびます。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「おむかえ」

吉岡さやか作

かしのき園のお迎えの時間です。キツツキ、サル、モグラ、イノシシと、次々にお母さん、お父さんが子どもたちを迎えにやってきます。ところが、クマの子のお母さんがなかなかきません……



こどものとも

5～6歳向き

「あめのち ゆうやけ せんたくかあちゃん」

さとうわきこ作・絵

しばらく雨が続いて、せんたくかあちゃんは大好きな洗濯ができません。久しぶりに晴れた日、たまった洗濯物を一気に洗うため、川ぞいに出かけます。気持ちよく洗濯をしていると、不思議なものが流れてくるではありませんか。早急かあちゃんがとりあげて洗ってみると……



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「そうっと そうっと さわってみたの」

三宮麻由子文 / 山村浩二絵

春の野原で、そうっとそうっとさわってみたの。指先でシロツメクサの花にふれると、花びらの先がつんつん。げんきだよって、指をやさしくつつく。葉っぱはどうか？



他にこんな絵本も購入しました。

「さんすうだいすき⑤えあわせ でんこうニュース[方眼]」

編著者 遠山啓

5歳～7歳

【内容】

うえ・した・まんなか、左・右・まんなか、うえ・した・左・右・まんなかのまんなか、方眼の座標（絵・色・文字）。



【学習のポイント】

日本図書センター

私たちは、ふだん意識はしていませんが、三次元（たて×横×高さ）の空間で生活しています。空間を認識し、その中の物の位置関係や方向を知ることが、生活していく上で大変重要なことです。子どもが成長するにつれて、いろいろな事物の位置関係を知ることを通して、空間を認識することは、単に算数の学習だけでなく、生活全体にとって不可欠のことです。

この巻は、子どもが遊びながら、空間をどういう順序で認識していくかを学ぶ内容です。上下左右などの位置関係から、方眼や座標の考え方にまでつながります。

【雑感】

本を読むということは、頭の中でイメージを描き、それをつなげていく作業です。本を読める子になってもらうためには、どうしたらよいのでしょうか。絵本を読んでもらっている子どもは、見ているページと次のページの間には見えない絵が心のスクリーンに映し出されています。そうやって物語を理解し、楽しむことができているのです。ある小学校の先生の言葉を借りると、「新1年生の中に、おうちでよく絵本を読んでもらっていたんだね、と分かる子がいる」そうで、そんな子は「教師の話をもるで吸い取るように聞いている」そうです。いつの間にか、話を聞いて考え、自分のものにする力がついていたのです。

